

「性差医学・医療」の概要と 循環器疾患の性差

平成30年度愛媛県臨床検査学会

日 時：2018年6月10日（日） 12:05～12:55

会 場：ランチョンセミナーA会場
松前総合文化センター ふれあい展示室
愛媛県伊予郡松前町大字筒井 633

講 師：シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
学術部学術グループグループマネージャー
横山 知子

「性差医学・医療」をご存知でしょうか？

これまでの医学は成人男性を標準として、病態とその推移、診断方法、治療方法などを確立してきました。しかし近年では、同じ疾患に対する危険因子（リスクファクター）でも寄与度に男女差がある場合があること、同じ医薬品でも効果に男女差がある場合があることなどが明らかになりつつあります。原因として男女のホルモンバランスの違い（生物学的要因）や生活習慣の違い（社会文化的要因）などが挙げられていますが、いずれにしてもそのような性差に配慮した医療（性差医療）が必要と考えられるようになりました。このように男女の様々な差異を念頭において行う医療を性差医療と呼んでいます。

今回のセミナーでは、性差医学・医療の概要をご説明した後、循環器疾患の性差をご紹介します。

共催：平成30年度愛媛県臨床検査学会
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社